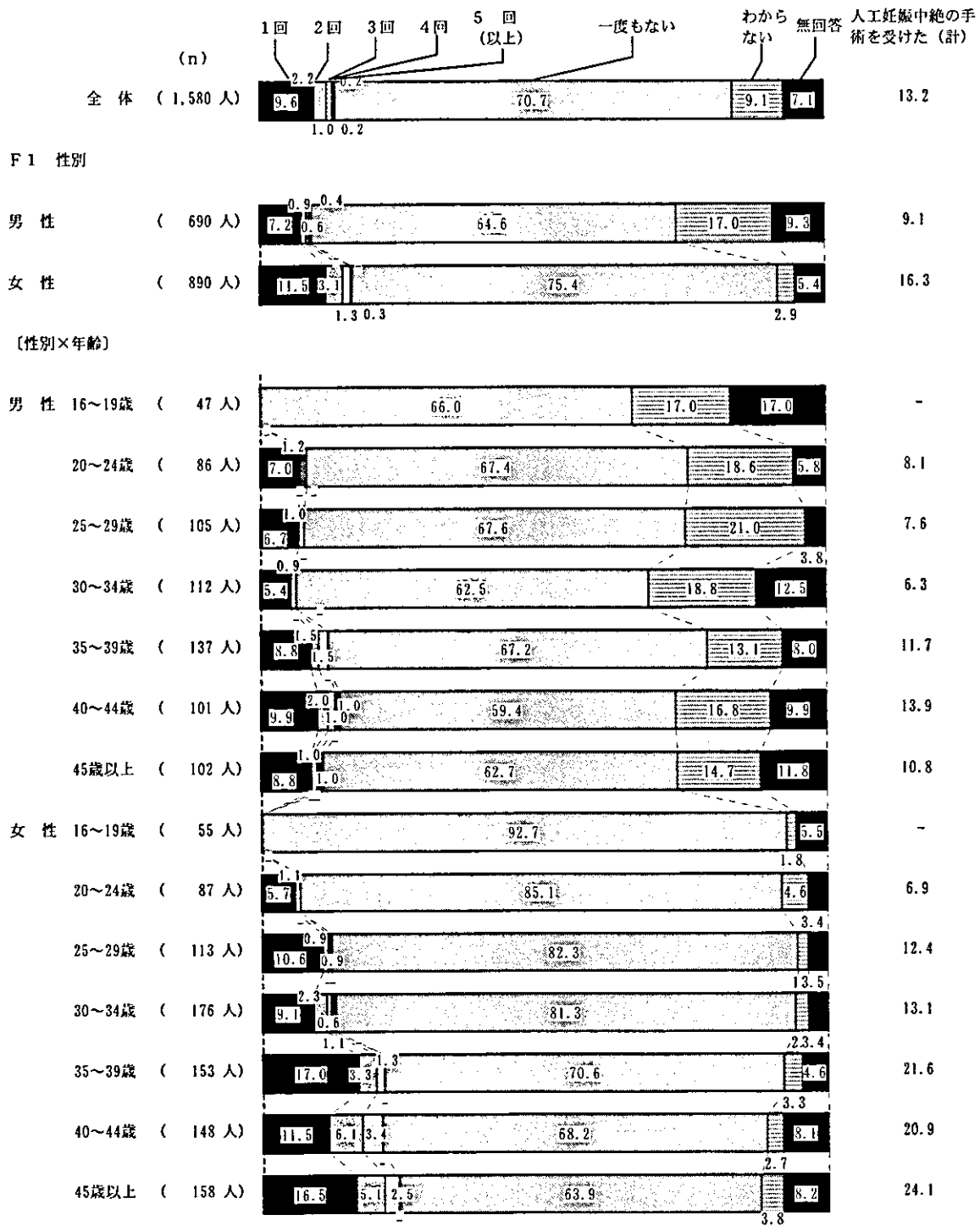


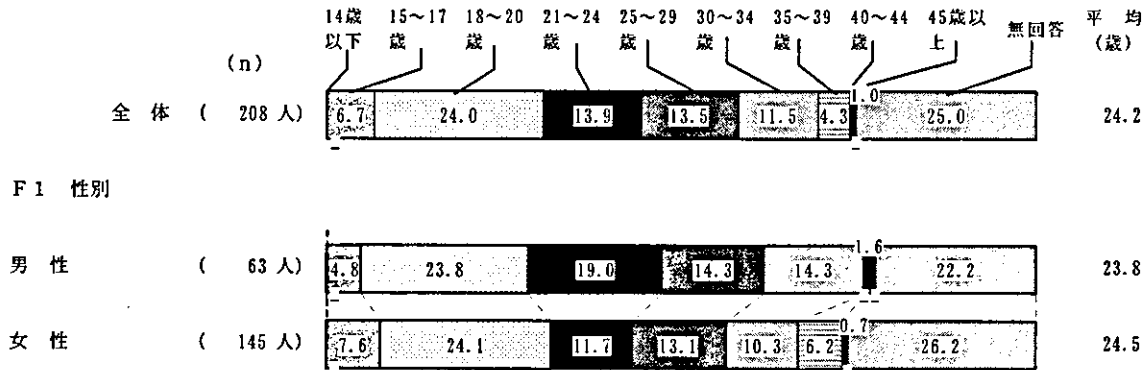
図7-4-1 人工妊娠中絶の手術を受けた経験（性別、性・年齢別）



これまでに人工妊娠中絶手術を受けたことがある者（208人）に、1回目の人工妊娠中絶手術を受けた年齢を聞いたところ（図7-4-2）、「18～20歳」という者が24.0%、「21～24歳」が13.9%、「25～29歳」が13.5%で、平均すると24.2歳になる。

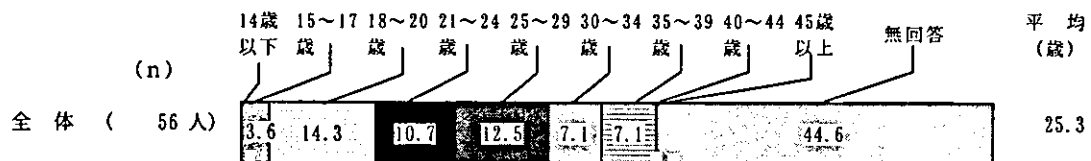
性別にみると（図7-4-2）、1回目の人工妊娠中絶手術を受けた年齢の平均は、男性23.8歳、女性24.5歳である。

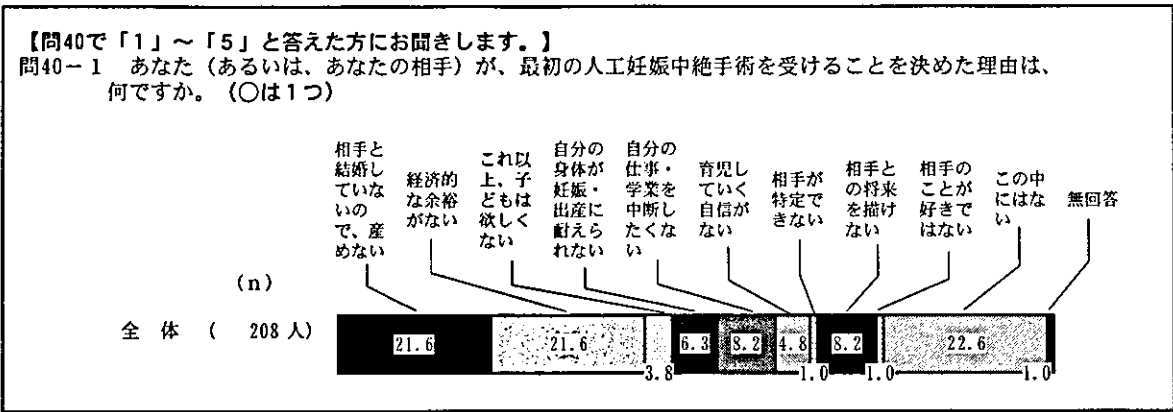
図7-4-2 1回目の人工妊娠中絶手術を受けた年齢（性別）



さらに2回以上、人工妊娠中絶手術を受けたことがある者（56人）に、その時の年齢を聞いたところ（図7-4-3）、平均すると25.3歳であった。

図7-4-3 2回目の人工妊娠中絶手術を受けた年齢

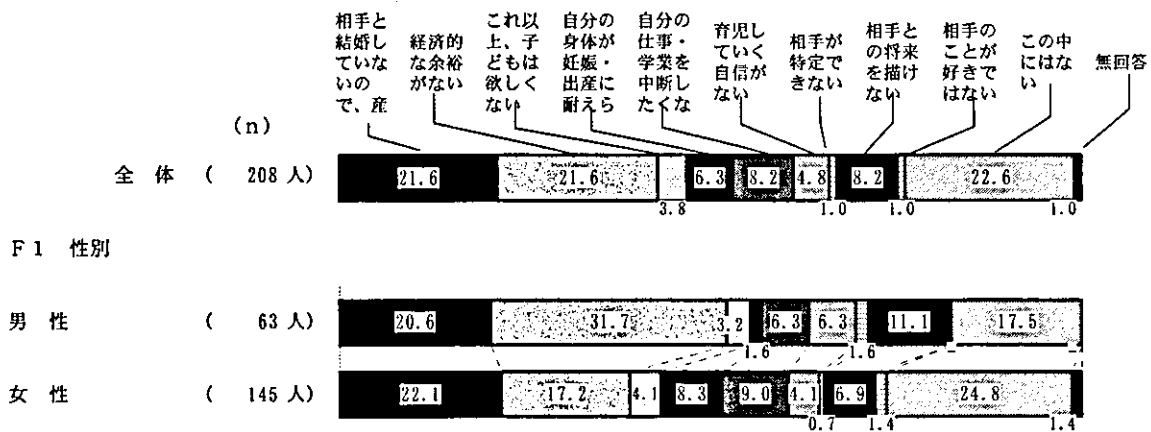




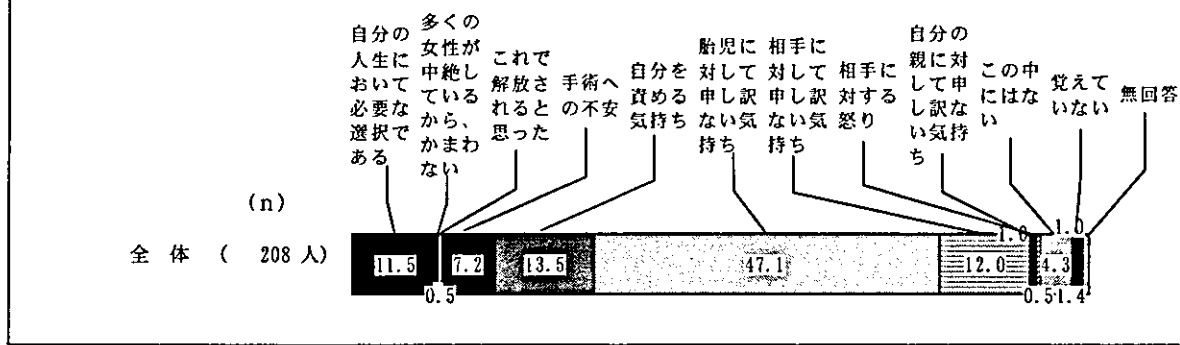
これまでに人工妊娠中絶手術を受けたことがある者（208人）に、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決めた理由を聞いたところ、「相手と結婚していないので、産めない」もしくは「経済的な余裕がない」と答えた者がともに21.6%で最も多く、次いで「自分の仕事・学業を中断したくない」もしくは「相手との将来を描けない」という者がともに8.2%であった。

性別にみると（図7-4-5）、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決めたのは、「経済的な余裕がない」からだとなされた者が男性で31.7%と、女性を14ポイント上回っている。

図7-4-5 最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決めた理由（性別）



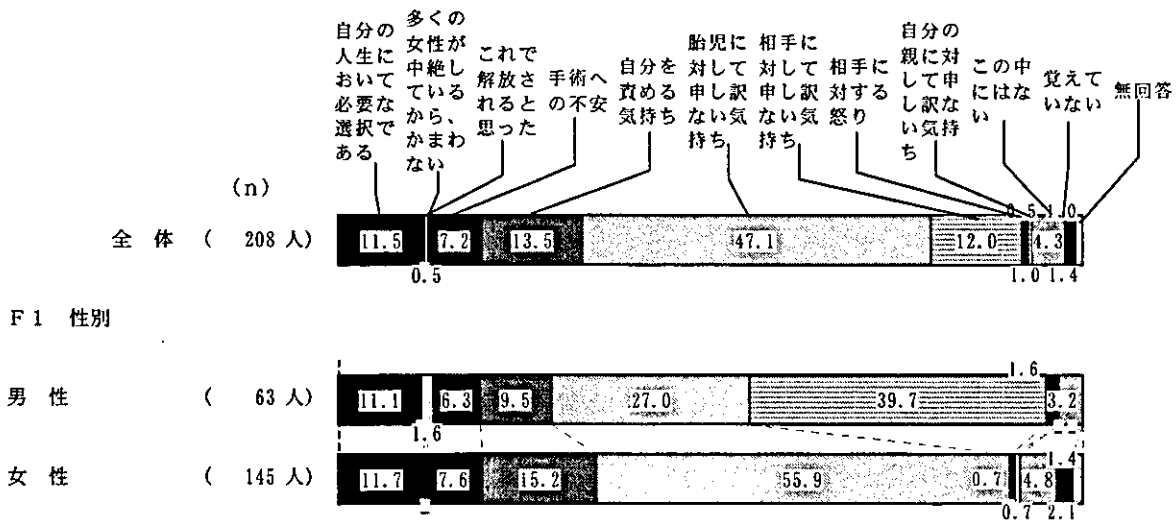
問40-2 あなた（あるいはあなたの相手）が、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決定したとき、あなたはどのような気持ちでしたか。（○は1つ）



- これまでに人工妊娠中絶手術を受けたことがある者（208人）に、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決定したときの気持ちを聞いたところ、「胎児に対して申し訳ない気持ち」（47.1%）だったという者が半数近くを占め、次いで「自分を責める気持ち」（13.5%）、「相手に対して申し訳ない気持ち」（12.0%）、「自分の人生において必要な選択である」（11.5%）、「手術への不安」（7.2%）などの順になっている。

性別にみると（図7-4-6）、「胎児に対して申し訳ない気持ち」と答えたのは女性の55.9%で、男性（27.0%）のほぼ倍になっている。一方、「相手に対して申し訳ない気持ち」と答えたのは、すべて男性（39.7%）であった。

図7-4-6 最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決定したときの気持ち（性別）



Ⅲ 調 査 票

第2回 男女の生活と意識に関する調査

- この調査票に記載された内容については、統計として取りまとめるだけで、皆様の個人的な内容が明らかにされることはいっさいありません。お答えになりにくい質問もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。
- どうしても、答えにくい質問があれば、その部分は無回答でも結構です。次の質問に進んでください。
- この調査は、16～49歳の人を対象となります。

〔ご記入に際してのお願い〕

- 1) この調査は、調査員がお願いした方ご本人に、ご回答をお願いいたします。
- 2) お答えは、あてはまる番号を○印で囲んでいただくか、数字をご記入ください。
- 3) お答えは原則的に1つの質問につき1つ選んでいただきます。ただし質問によっては、2つ以上の回答を選んでいただく場合もあります。質問文末に（○は2つまで）など、選んでいただく回答の数が示してありますので、これに従ってください。
- 4) ご記入は、質問の番号や矢印（→）の指示にそってお願いします。一部の方だけにお答えいただく質問もありますので、その場合は、【 】内の指示に従ってお答えください。
- 5) ご記入は鉛筆または黒・青のペン、ボールペンでお願いします。なお、記入上おわかりにならない点などがありましたら、お伺いした調査員にお尋ねいただくか、調査の実施機関である下記の（社）新情報センターにお問い合わせください。

〔回収日時〕

____月____日____時頃に回収にお伺いします。それまでにご記入くださいますよう、お願い申し上げます。

平成16年10月

厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業

「望まない妊娠、人工妊娠中絶を防止するための効果的な避妊教育プログラムの開発に関する研究」

主任研究者 自治医科大学名誉教授 佐藤 郁夫

【調査実施機関】

社団法人 新情報センター

東京都渋谷区恵比寿1-13-6

TEL 03-3473-8833

担当：溝 淵、田 島

①～⑥

あなたのこれまでの日常生活や考え方についてお伺いします。

問1 あなたが幼い頃（10歳くらいの頃まで）、多くの同性の友だちと一緒に外で遊びましたか。（○は1つ）

⑦=1

- | | |
|----------|--------------|
| 1 よく遊んだ | 3 ほとんど遊ばなかった |
| 2 時々、遊んだ | 4 まったく遊ばなかった |

⑧

問2 あなたが幼い頃（10歳くらいの頃まで）、地域の中で、他の年代の人たちと関わる機会が多くありましたか。（○は1つ）

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 よく関わった | 3 ほとんど関わりはなかった |
| 2 時々、関わった | 4 まったく関わりはなかった |

⑨

問3 では、あなたが中学生の頃までのことを、お聞きします。次のa～eについて、それぞれお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）

	思う	とても思う	思う	ある程度思う	あまり思う	思わない	まったく思う	まったく思わない
a 親や学校に反発するほうだった	1	2	3	4				
b まわりの友だちや情報に流されやすいほうだった	1	2	3	4				
c まわりの人たちとの人間関係をうまく築いていけるほうだった	1	2	3	4				
d 勉強や友人関係などの自分の問題について、自分で対応していけるほうだった	1	2	3	4				
e 自分の将来について、夢を描いているほうだった	1	2	3	4				

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

問4 あなたが中学生だった頃、あなたの学校の成績はどうでしたか。（○は1つ）

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 非常によかった | 3 悪かった |
| 2 よかった | 4 非常に悪かった |

⑮

問5 あなたが中学生だった頃、あなたは容姿など、自分の外見について満足していましたか。（○は1つ）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 非常に満足していた | 3 不満であった |
| 2 満足していた | 4 非常に不満であった |

⑯

問6 あなたは、これまでに虐待（言葉による暴力や精神的な暴力を含む）と思われるような対応を、親から受けたことがありますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------|------------|
| 1 しばしばあった | 3 ほとんどなかった |
| 2 時々、あった | 4 まったくなかった |

⑰

問7 あなたは、過去にあったもっともつらい出来事（親の死、失恋、等）を自分の中で整理できていますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 整理できている | 3 あまり整理できていない |
| 2 ある程度整理できている | 4 まったく整理できていない |

⑱

問8 あなたは、ものごとを損得で考えて判断することがありますか。(○は1つ)

1 よくある	3 あまりない
2 時々ある	4 まったくない

⑱

問9 人生の計画についてお聞きします。a～dの項目において、それぞれ1～3の選択肢から選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

	完璧に計画通り 成し遂げたい	まあ計画に近け ればよい	計画は特に立て ていない
a) 結婚の時期	1	2	3
b) 相手(配偶者)の年齢	1	2	3
c) 結婚・出産後の就労	1	2	3
d) 子どもの有無・数	1	2	3

⑳

㉑

㉒

㉓

問10 性に関する事柄について、あなたは一般的に、何歳くらいの時に知るべきだと思いますか。a～pのそれぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

	3 歳	6 歳	10 歳	13 歳	16 歳	19 歳 以上	異なる 個人によつて	知る 必要は ない
a 男女の心と身体の違い	1	2	3	4	5	6	7	8
b 二次性徴(発毛・声変わり・乳房のふくらみ)、月経、 射精などの身体のしくみ	1	2	3	4	5	6	7	8
c 受精、妊娠、出産、誕生のしくみ	1	2	3	4	5	6	7	8
d セックス(性交渉)	1	2	3	4	5	6	7	8
e 避妊法	1	2	3	4	5	6	7	8
f 人工妊娠中絶	1	2	3	4	5	6	7	8
g エイズとその予防	1	2	3	4	5	6	7	8
h エイズ以外の性感染症とその予防	1	2	3	4	5	6	7	8
i コンドームの使い方	1	2	3	4	5	6	7	8
j 多様な性のあり方(同性愛、性的指向、性同一性障害等)	1	2	3	4	5	6	7	8
k 性的被害(レイプや性暴力など)の対処法	1	2	3	4	5	6	7	8
l 男女間の平等や助け合い	1	2	3	4	5	6	7	8
m 結婚	1	2	3	4	5	6	7	8
n 離婚	1	2	3	4	5	6	7	8
o 人と人とのコミュニケーション(関わり方)	1	2	3	4	5	6	7	8
p 性に関する倫理や道徳	1	2	3	4	5	6	7	8

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

ここからは男女の関係性についての意識を伺います。

問11 あなたは異性と「付き合う」という言葉をどのようにとらえていますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。(○は1つ)

- 1 セックスをする関係
- 2 一緒の時間・人生を生きるものとしての関係
- 3 1人にしぼられた特定の相手との関係
- 4 結婚などの将来設計を描く相手としての関係
- 5 一生に一度しか会うことのないかけがえのない相手との関係
- 6 この中にはない

④①

問12 いままで、あなたは付き合っていた(いる)相手がありますか。現在進行中の関係も含めてください。(○は1つ)

1 はい	2 いいえ
↓	→ 問15へ

④①

【問13と問14は問12で「1」と答えた人にお聞きします。】

問13 初めてそのような相手を持ったのは、あなたが何歳のときですか。

□	歳の時
---	-----

④②
④③

問14 その初めての関係がおわったのはあなたが何歳のときですか。

1 □ 歳の時	2 現在、関係が続行中
---------	-------------

④④
④⑤ ④⑥

性の意識や知識についてお伺いします。

【全員の方がお答えください。】

問15 あなたは、避妊方法について、主にどこから知りましたか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 教師・学校の授業 | 6 友だち |
| 2 医師、助産師、保健師などの保健医療者 | 7 マスコミ(新聞、テレビ、雑誌など) |
| 3 親 | 8 インターネット |
| 4 きょうだい | 9 意識せず、自然に身についた |
| 5 親以外の大人 | 10 学んだことはない |

④⑦

問16 あなたは中学生がセックス(性交渉)をすることについてどう思いますか。(○は1つ)

- 1 セックス(性交渉)は、妊娠や性感染症について、自分で責任のとれる年齢や立場になってからすべきだ
- 2 妊娠や病気が学業に与えるその後の影響を考えると、しないほうがよい
- 3 時代の流れであるので仕方がない
- 4 セックス(性交渉)をするかしないかは、中学生であっても個人の自由である

④⑧

問 17 あなたは、セックス（性交渉）をすることに、関心がありますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 とても関心がある | 4 まったく関心がない |
| 2 ある程度関心がある | 5 嫌悪さえしている |
| 3 あまり関心がない | |

49

問 18 あなたは、実際に異性と関わることを面倒だと感じますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1 とても面倒である | 4 まったく面倒ではない |
| 2 ある程度面倒である | 5 異性と関わることを嫌悪さえしている |
| 3 あまり面倒ではない | |

50

問 19 性感染症予防のためにもコンドームは重要ですが、どうすればコンドームの利用が増えると思いますか。もっとも有効だと思うものを1つお答えください。（○は1つ）

- | |
|----------------------|
| 1 値段を安くする |
| 2 いろいろな場所で入手できる |
| 3 パッケージを魅力あるものにする |
| 4 ファッションブランドの商品として売る |
| 5 使いやすい商品を開発する |
| 6 サイズを増やす |
| 7 香りや色を魅力あるものにする |
| 8 コンドームの有効性を周知する |
| 9 使用しても痛くならない商品を開発する |
| 10 その他（具体的に _____） |

51

問 20 あなたは低用量ピル（経口避妊薬）を知っていますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------|------------|
| 1 よく知っている | 3 あまり知らない |
| 2 ある程度知っている | 4 まったく知らない |

52

問 21 あなたは、「緊急避妊法」「モーニングアフターピル」「性交後避妊」のいずれかの言葉を聞いたことがありますか。（○は1つ）

- | | |
|------------|------------|
| 1 聞いたことがある | 2 聞いたことがない |
|------------|------------|
- 次ページの問題 22 へ

53

【問 21 で「1」と答えた方にお聞きします。】

問 21-1 上記のいずれかの言葉に該当する方法を利用したことがありますか。いくつかの方法を利用したことのある方は、合計の回数をお答えください。（○は1つ）

- | | |
|----------|-------------|
| 1 1回だけある | 4 利用したことはない |
| 2 2回ある | 5 わからない |
| 3 3回以上ある | |

54

【全員の方がお答えください。】

問 22 次の避妊法のうち、あなたが現時点で適切と判断するのはどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 コンドーム | 7 女性用コンドーム |
| 2 ピル (経口避妊薬) | 8 ペッサリー |
| 3 フィルム状避妊薬 | 9 緊急避妊法 |
| 4 月経からの日数を数える | 10 IUD (避妊リング) |
| 5 基礎体温をはかる | 11 この中にはない |
| 6 膣外射精法 (精液を外に出すこと) | |

55

あなた自身の性行動についてお聞きします

問 23 あなたは、これまでにセックス (性交渉) をしたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|------|-----------------|
| 1 ある | 2 ない |
| ↓ | → 10 ページの問 37 へ |

56

【問 24～問 36 は、問 23 で「1 ある」と答えた方にお聞きします。】

問 24 この1年間に、何人の人とセックス (性交渉) をしましたか。(○は1つ)

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 1 1人 | 6 10～19人 |
| 2 2人 | 7 20～49人 |
| 3 3人 | 8 50～99人 |
| 4 4人 | 9 100人以上 |
| 5 5～9人 | 10 この1年間は、セックス (性交渉) をしなかった |

57

問 25 あなたは、セックス (性交渉) の相手が変わることを、どのように感じますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 かなり重大なことだと感じる | 3 やや軽く考えている |
| 2 やや重大なことだと感じる | 4 かなり軽く考えている |

58

問 26 あなたの、この1ヶ月間の、セックス (性交渉) 回数はどれくらいですか。(○は1つ)

- | | |
|--------|------------------------------|
| 1 1回 | 6 10～19回 |
| 2 2回 | 7 20～49回 |
| 3 3回 | 8 50～99回 |
| 4 4回 | 9 100回以上 |
| 5 5～9回 | 10 この1ヶ月間は、セックス (性交渉) をしなかった |

59

次に、初めてのセックス (性交渉) について、お聞きします。

【全員の方がお答えください。】

問 27 あなたが、最初にセックス (性交渉) をしたのは何歳の時ですか。

歳の時

60

問 28 あなたは、最初のセックス (性交渉) をする前に、「初めてのセックス (性交渉)」というものを、どのように考えていましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 かなり重大なことだと感じていた | 3 やや軽く考えていた |
| 2 やや重大なことだと感じていた | 4 かなり軽く考えていた |

61

問 29 初めてセックス（性交渉）をした相手とはどのようにして知り合いましたか。（○は1つ）

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 友だち・知りあいの紹介 | 7 合コン |
| 2 同級生、同じ学校の人 | 8 旅行先で |
| 3 趣味、サークルなど | 9 ナンパ |
| 4 職場・バイト先 | 10 出会い系サイト・テレクラ |
| 5 お見合い | 11 趣味や個人のホームページ |
| 6 相手を紹介してくれるサービス | 12 この中にはない |

62

問 30 初めてのセックス（性交渉）をするきっかけは、どのようなことでしたか。もっとも当てはまるものを選んでください。（○は1つ）

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 相手と結婚したから | 7 相手からお金がほしかったから |
| 2 相手との結婚が決まったから | 8 性風俗の店に行ったから |
| 3 相手は恋人だったから | 9 お酒のいきおいで |
| 4 恋人ではなかったが好きだったから | 10 なげやり |
| 5 さびしかったから | 11 なんとなく |
| 6 みんな経験していたから | 12 この中にはない |

63

問 31 初めてセックス（性交渉）した相手と、初めてのセックスの後、どのくらいの間、交際していましたか。初めてセックス（性交渉）をした相手と「現在も、交際している」、もしくは「現在、配偶者」という方は、現在までの期間でお答えください。（○は1つ）

- | | |
|-----------|--------|
| 1 交際しなかった | 6 1年未満 |
| 2 1週間未満 | 7 3年未満 |
| 3 1か月未満 | 8 5年未満 |
| 4 3か月未満 | 9 5年以上 |
| 5 6か月未満 | |

64

問 32 初めてのセックス（性交渉）の時に、避妊をしましたか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 した | |
| 2 しなかった | → 次ページの問 32-2 へ |
| 3 わからない（忘れた） | → 次ページの問 33 へ |

65

【問 32 で「1 した」と答えた方にお聞きします。】

問 32-1 そのときに使った避妊法は以下のうちどれでしたか。（○は1つ）

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 男性用コンドーム | 5 飲む避妊薬（ピル） |
| 2 女性用コンドーム | 6 オギノ式避妊法 |
| 3 膈外射精（性交中絶法） | 7 基礎体温法 |
| 4 洗浄法 | 8 この中にはない |

66

【問 32 で「2 しなかった」と答えた方にお聞きします。】

問 32-2 なぜ避妊しなかったのですか。もっとも大きな理由を1つお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 避妊についてよく知らなかった | 6 子どもが欲しかった |
| 2 自分の方から避妊を言い出せなかった | 7 妊娠しないと思った |
| 3 「避妊しよう」と言ったが相手に断られた | 8 面倒だった |
| 4 避妊具がなかった | 9 完璧な避妊はないと思った |
| 5 子どもができてかまわなかった | 10 その他(具体的に) |

(6)

現在の避妊の状況について、お聞きします。

問 33 あなたは、ふだんセックス(性交渉)をどれくらいしていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|---------------------|
| 1 毎日 | 6 半年に2~3回 |
| 2 週に2~3回 | 7 年に2~3回 |
| 3 週に1回 | 8 年に1回 |
| 4 月に2~3回 | 9 年に1回未満 |
| 5 月に1回 | 10 ふだんセックス(性交渉)をしない |

(7)=2

(8)

問 34 あなたは避妊することや、その方法について、相手とよく相談して決めていますか。(○は1つ)

- | |
|---------------|
| 1 よく相談している |
| 2 あまり相談していない |
| 3 まったく相談していない |

(9)

問 35 あなたは、この1年間、避妊していますか。既に、子宮内避妊具を使用している方や不妊手術を受けている方は、「1 いつも避妊している」を選んでください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 いつも避妊している | → 次ページの間 35-2 へ |
| 2 避妊をしたり、しなかったりしている | |
| 3 避妊はしない | |
| 4 セックス(性交渉)をしていない | → 10 ページの間 37 へ |

(10)

【問 35 で「2」または「3」と答えた方にお聞きします。】

問 35-1 あなたが、避妊をしていないことがあるのはなぜですか。もっとも大きな理由を1つお答えください。(○は1つ)

- | |
|-----------------------|
| 1 避妊についてよく知らない |
| 2 自分の方から避妊を言い出せない |
| 3 「避妊しよう」と言ったが相手に断られる |
| 4 避妊具がない |
| 5 子どもができてかまわない |
| 6 子どもが欲しい |
| 7 妊娠しないと思う |
| 8 面倒だ |
| 9 完璧な避妊はないと思う |
| 10 その他(具体的に) |

(11)

【問 35 で「1」または「2」と答えた方にお聞きします。問 35 で「3」と答えた、「避妊はしない」という方は、次ページの問 37 へお進みください。】

問 35-2 あなたの、現在の主な避妊方法はどれですか。(○は2つまで)

1 男性用コンドーム 2 女性用コンドーム	3 オギノ式避妊法 4 基礎体温法 5 膈外射精(性交中絶法) 6 洗浄法 7 殺精子剤(錠剤、ゼリー、フィルム) 8 子宮内避妊具(IUD、リング) 9 飲む避妊薬(ピル) 10 不妊手術(男性) 11 不妊手術(女性)
--------------------------	---

(12)

【問 35-2 で「1」または「2」と答えた方にお聞きします。】

付問1 コンドームを使っている最も大きな理由は何ですか。(○は1つ)

1 性感染症予防のため 2 確実な避妊方法だと思う 3 相手が使っている 4 コンドーム以外の避妊方法を知らない 5 値段が安い 6 どこでも手に入りやすい 7 セックスをした場所に置いてあった 8 安心できる 9 よく使われている 10 なんとなく 11 この中にはない
--

(13)

【性感染症予防のためにもコンドームは重要ですが、コンドームを使っていない方にお聞きします。】

問 36 コンドームを使わない最も大きな理由は何ですか。(○は1つ)

1 値段が高い 2 買うのが恥ずかしい 3 面倒だ 4 持っていなかった 5 使わないほうが気持ちいい 6 相手がいやがる 7 妊娠を希望している、妊娠しても良いと思っている 8 性感染症を心配していない 9 他の避妊方法をしている 10 失敗することがあると聞いたので、しても無駄だと思った 11 痛くなるから 12 装着するために冷静にならないといけない 13 見た目が悪い 14 なんとなく 15 この中にはない

(14)

(15)

予期しない妊娠の防止についてお聞きします。

【全員の方がお答えください。】

問 37 低用量ピル（経口避妊薬）は、ホルモン含有量を抑えた、女性が飲む錠剤の避妊薬ですが、あなた自身は低用量ピルを使いたい、または相手に使ってほしいと思いますか。（〇は1つ）

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1 すでに使っている | 3 将来は使いたい（使ってほしい）
が、今の状況では使えない |
| 2 現在は使っていないが、ぜひ使いたい
（使ってほしい） | 4 使いたくない（使ってほしくない） |

(16)

【問 37 で「1」または「2」と答えた方に、お聞きします。】

問 37-1 低用量ピルを「使っている」または「ぜひ使いたい」と思う最も大きな理由は何ですか。（〇は1つ）

- 1 避妊効果が高い
- 2 手軽に使える
- 3 低用量だから副作用が少ない
- 4 女性自身の意思で使うことが出来る
- 5 セックス（性交渉）の際に避妊を意識しないですむ
- 6 人工妊娠中絶をしないですむ
- 7 多くの国で使われている実績がある
- 8 月経痛の緩和や貧血の予防などの副効用がある
- 9 この中にはない

(17)

【問 37 で「3」または「4」と答えた方に、お聞きします。】

問 37-2 低用量ピルを、「使えない」または「使いたくない」ことの最も大きな理由は何ですか。（〇は1つ）

- 1 副作用が心配
- 2 情報が入手できない
- 3 相談する場所がない
- 4 毎日飲まなければならないのは面倒
- 5 女性だけに負担がかかる
- 6 すでに使っている避妊法で十分
- 7 性感染症やエイズを予防できない
- 8 費用がかかりすぎる
- 9 配偶者またはパートナーが反対している
- 10 親が反対している
- 11 もらう前に医師の検査・診察を受けるのが面倒
- 12 年齢が高いので使えない
- 13 病気があるため使えない
- 14 ここにはない

(18)

(19)

問 38 あなたのまわりで、低用量ピル（経口避妊薬）を使用している方はいらっしゃいますか。（〇は1つ）

- | |
|--------------------------------------|
| 1 いる（ <input type="checkbox"/> 人くらい） |
| 2 いない |
| 3 知らない・わからない |

(20)

(21)(22)

問 39 あなたは、人工妊娠中絶についてどう思いますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1 認める | 4 どちらともいえない |
| 2 一定の条件を満たす場合は、やむをえない | 5 この中にはない |
| 3 認めない | |

(23)

問 40 あなた（あるいはあなたの相手）は、これまでに、人工妊娠中絶の手術を受けたことがありますか。
1 から 5 までの番号に○を1 つつけてください。また、1 に○をつけた人はその時の年齢を、2 ～ 5 に○をつけた人は、1 回目と 2 回目のあなたの年齢をお書きください。

1	1 回・・・() 歳の時	6	一度もない	} → F1へ
2	2 回・・・() 歳の時	7	わからない	
3	3 回			
4	4 回			
5	5 回 (以上)			

(24)
(25)(26)
(27)(28)

【問 40 で「1」～「5」と答えた方にお聞きします。】

問 40-1 あなた（あるいは、あなたの相手）が、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決めた理由は、何ですか。（○は1 つ）

1	相手と結婚していないので、産めない
2	経済的な余裕がない
3	これ以上、子どもは欲しくない
4	自分の身体が妊娠・出産に耐えられない
5	自分の仕事・学業を中断したくない
6	育児していく自信がない
7	相手が特定できない
8	相手との将来を描けない
9	相手のことが好きではない
10	この中にはない

(29)

問 40-2 あなた（あるいはあなたの相手）が、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決定したとき、あなたはどのような気持ちでしたか。（○は1 つ）

1	自分の人生において必要な選択である	7	相手に対して申し訳ない気持ち
2	多くの女性が中絶しているから、かまわない	8	相手に対する怒り
3	これで解放されると思った	9	自分の親に対して申し訳ない気持ち
4	手術への不安	10	この中にはない
5	自分を責める気持ち	11	覚えていない
6	胎児に対して申し訳ない気持ち		

(30)

最後に、この調査を統計的に処理するために、あなたご自身のことについていくつかお聞きします。

F 1 あなたの性別（○は1 つ）

1	男性	2	女性
---	----	---	----

(31)

F 2 あなたの年齢は、満でおいくつですか。

()	歳
-----	---

(32)

(33)

F 3 あなたには、あなた以外に兄弟姉妹がいらっしゃいますか。いる方はご自分以外に何人いらっしゃるかを教えてください。

1 いる (<input type="text"/>) 人	2 いない
---------------------------------	-------

(34)
(35)(36)

F 4 中学生時代の家族形態は、どれにあてはまりますか。(○は1つ)

1 一人暮らし
2 両親と同居
3 一方の親と同居
4 親と親以外の血縁(祖父母、叔父、伯母など)と同居
5 親以外の血縁(祖父母、叔父、伯母など)と同居
6 その他
7 わからない

(37)

F 5 あなたは、結婚していらっしゃいますか。(○は1つだけ)

1 未婚	4 離婚
2 初婚	5 死別
3 再婚	

(38)

F 6 あなたには、お子さんがいらっしゃいますか。

1 いる (<input type="text"/>) 人	2 いない	→ F 7 へ
---------------------------------	-------	---------

(39)
(40)(41)

【F 6で「1」と答えた方にお聞きします。】

F 6-1 一番上のお子さんの年齢はおいくつですか。

<input type="text"/> 歳

(42)
(43)

【全員の方がお答えください。】

F 7 あなたの主な職業は、どれにあてはまりますか。(○は1つ)

1 勤め人(常勤)
2 勤め人(非常勤・パートタイム・アルバイトなど)
3 自営業(事業の経営者・家業の手伝い・内職など)
4 学生
5 主婦(主夫)
6 無職

(44)

どうもありがとうございました。

第2回「男女の生活と意識に関する調査」

実行委員会名簿

- ◎佐藤 郁夫（自治医科大学）
 - 北村 邦夫（社団法人日本家族計画協会）
 - 佐藤龍三郎（国立社会保障・人口問題研究所）
 - 渋井 哲也（フリーライター）
 - 菅 睦雄（リプロヘルス情報センター）
 - 杉村由香理（社団法人日本家族計画協会）
 - 高島 美保（新情報センター）
 - 林 謙治（国立保健医療科学院）
 - 松浦 賢長（福岡県立大学看護学部）
 - 村瀬 幸浩（一橋大学）
 - 近 泰男（社団法人日本家族計画協会）
 - 松本 清一（社団法人日本家族計画協会）
- （◎委員長 ○副委員長 □顧問）

効果的な性の健康教育プログラムの開発に関する研究 分担班まとめ

十代妊娠に対応した新たな介入モデルの構築

松浦 賢長 福岡県立大学看護学部

十代妊娠に対応する新たな性の健康教育モデルを開発することが本分担班の研究目的である。そのために、まず、その新しいモデルを構築するにあたって関連する各種のモデルを検討することからはじめる。性行動を予測するモデルの変遷と保健行動を予測するモデルの変遷をまずは検討した。つぎに、性行動と保健行動の違いを論じた。さらに、行動という観点から見た妊娠の本質と性感染症の本質を明らかにし、その違いから十代妊娠に特化したモデルへの足がかりを得た。実行可能な取り組みを5つあげたのち、十代妊娠に対応する新たな取り組みのモデル（intra-interpersonal model）と、性行動を予測しうる新たなモデル（interpersonal plus environment model）を組み立てた。エビデンスが蓄積される中、今後の研究課題は思春期以前の成育環境（周産期～学童期）の影響と生理学的な観点からの議論にあると考えられた。なお、本分担班における他の研究のすべては本論のモデル開発を支援するためであり、その役割は本論文中に示した通りである。

I. はじめに

われわれの研究における最終目的は、十代妊娠に対応した新しい性の健康教育モデルを開発することにある。そのために、まず、その新しいモデルを構築するにあたって関連する各種のモデル（歴史的なものも含めて）を検討することからはじめる。

具体的には、本研究ではこれまで性教育がどのようなモデルを元に展開されてきたのかを検討する。そして、（主として生活習慣病などに対応する）健康教育がどのようなモデルを元に展開されてきたのかを俯瞰する。その上で、健康行動と性行動を検討することにより、新しい性の健康教育プログラムが焦点化するべき視点をつくりだしたい。

II. 既存の関連モデルの変遷

1. 性教育が立脚してきたモデル

性の歴史は、数十億年の単位にあり、人間の歴史はわずかに数百万年の単位である。性の歴史の中に、人間の歴史が最近生じたとみたほうが合理的である。人間の性（sexuality）の歴史は、性（sex）の歴史のごく一部でしかない。

人間はその歴史の当初から、様々な性に起因す

る問題を抱えていたことだろう。現在のわが国では、たとえば人工妊娠中絶の問題、性感染症の問題がそれらの一つである。これらの性の問題は、性行動の確率的帰結である。これまで性教育が立脚してきたモデルは、この性行動のとらえ方の違いと、健康（保健）行動のとらえ方の違いによって分類できる。まずは性行動のとらえ方をみても

る。わが国の歴史を振り返ると、約30年前までは、スライド1に示すように、刺激（stimuli）が性行動・反応（response/behaviour）につながるという単線形のモデルの上に考えられていたといえる。

「本能」という考え方が、現代の生物学のそれではなく、「個体の生存に欠くべからざるもの」もしくは「それなくしては生存できないもの」と考えられていた時代であった。また、本能と反射・反応の違いも十分には検討されていなかった時代といえた。

約30年前に、性教育の世界にパラダイムシフトが生じた。Sexualityという考え方の登場である。Sexualityを探究するということは、人間性を探究するということを意味する。人間性が主題となり、人間中心主義が性教育の世界を席卷した。人間の性は他の動物（non-human animals）とは異なり、

特別なものとしてみなされた。しばしば、「人間だけが、性交を生殖のためではなく、～（ここに快楽やコミュニケーションという単語が入った）のために行うのです」と語られる時代が1990年代中頃まで続いた。

人間の性はその人間性（人格）と分かちがたいという見方を基礎とするSexualityの考え方は、性行動はその人間・人格の中身（intrapersonal factors）に大きく依存するというモデルを産んだ。

スライド2にそのモデル図を示す。このモデルのもと、教育により人間性・人間の内的要因（intrapersonal factors）に働きかけ、個人の意思決定等をよりよいものにし、性の問題に対処しようと、多くのアプローチがなされてきた。

人格形成を主題とするわが国の学校教育においてなされる性教育では、このモデルのもとで、性行動の変容が語られるようになった。

現在、われわれは新たなパラダイムシフトに直面している。最新の生物学や行動遺伝学、あるいは認知科学、民族誌学が明らかにしたところによると、性に関することがらの多くは遺伝的なバックグラウンドを持つにもかかわらず、それらが発現するためには適切な環境が必要であるということであった。

遺伝性やその傾向（gene/predisposition）は環境を通して発現するという科学の見方（a model）である。たとえば、海外ではCaspiらの研究、Suomiらの研究、わが国では門脇らのthrifty geneの研究などがこのモデルを採用し、大きな成果をあげてきている。

スライド3にモデルを示す。性行動をこのモデルにあてはめていけば、性行動は遺伝的なものに基礎を持つが、それは環境を通して発現するということである。

このモデルと先の古典的なモデル（sexualityモデル）の決定的な差は、環境のとらえ方にある。環境により人間の性行動は大きく左右されるという見方である。環境の中に人間という生物は存在するのだという生物学の見方が基礎となっている。古典的モデルでは（しばしば意識化されてはいないが）、人間は望ましい自己決定ができるはずだという、人間の力（intrapersonal factors）を特別視する考え（理想）がまず基礎にあり、その人間の力に働きかけるためのプログラムが開発されていった。それは健康教育のモデルと親和性が高い

考え方であった（健康教育モデルの影響を受けていた）が、一方そこには、環境の中を生きる生物としての人間という視点はみられなかった。

2. 健康教育モデルの変遷

次は、望ましい生活習慣や健康行動を導くための健康教育のモデルの変遷をみていきたい。現代でいえば、生活習慣病対策に用いられる健康教育モデルの変遷である。ここでは、群馬大学の吉田亨教授の見解（以下の図に示した）に従ってみていく。

1940年代は知識普及の時代であった。情報伝達手段が乏しかった時代のことである。知識によって行動を変えられるというモデルであった。

1950-1960年代は、知識中心の時代ではあったが、知識を得、態度を変え、行動や習慣を変えられると考えられていた時代であった。正しい知識（たとえば医学的な知識）があれば、態度を、ひいては行動を変えられるというモデルであった。

ここまでの30年間、知識という人間の中身（intrapersonal factors）が重要視されてきたことになる。

1970年代になると正しい知識が行動をかえるという見方よりも、より個人的なものの見方（主観）が自身の行動に影響するという見方が主流になってきた。代表的なモデルとしては保健信念モデル（HBM）があげられる。保健行動は、その個人により認識された脅威と、認識された利益によって決まることが明らかになった。人は、正しく、かつ、客観的な情報に基づいて行動するのではないということである。このモデルは、認識という人間の中身（intrapersonal factors）を問題にしたことになる。しかし、これも「認識を変える有効な手段を伴わなかったため（吉田亨教授）」に、健康教育の進め方を大きく変えるには至らなかった。

1980年代、上記の知識や認識といったintrapersonal factorsを相対化した枠組みがあらわれた。たとえば、PPモデルはその1つである。いくつかのステップにおいて、その人間の中身だけではなく、その人間の生活や環境、そしてその人間のQOLが位置づけられた、包括的・円環的なモデルが誕生した。行動が相対化されたモデルといってよい。

指導型の健康教育の時代の次は、学習支援型の